

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 上湧別福祉会
特別養護老人ホーム 『湧愛園』

基本理念

「思いやり いたわりあい やさしい気づかひの気持ちを持ち、利用者の方々が豊かな質の高い生活が送れるよう利用者主体の施設づくりを目指します。」

事業の目的

この事業の目的は、入居者・利用者の意思及び人格を尊重し、また総合的にサービスが提供できるよう創意工夫し、入居者・利用者が個人の尊厳を保持し、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう、自律した生活を地域社会において営むことができるように支援することを目的とします。

事業運営の方針

- ① 「湧愛園」では、施設で生活される方のこれまでの暮らしが継続されるよう日常生活上の介護、機能訓練、健康管理の支援等を通じ、安心して快適な生活ができることを運営の基本とします。
- ② 「湧愛園」では、個人の人格を尊重し、常に入居者・利用者の立場に立った施設サービスを提供することを事業運営の基本とします。
- ③ 「湧愛園」では、明るく、楽しく、入居者が心身の安定が図れる家庭的な施設サービスを提供することを基本とします。このため、家族会や町内の保健・医療・福祉等のサービス提供機関と連携を密にし「湧愛園」の事業運営に当たります。

処遇目標

平均寿命をはるかに超えた入居者の生活介護においてはホスピス的な考え方を根底にし、管理的色彩を薄める努力、生活規則を可能な限り少なく自由に楽しく生活を送っていただけるよう環境づくりに努める。

入居者、利用者、ご家族の意向、要望を基に各専門分野が意見を出し合いより満足度の高いサービスを提供できるように努める。

日常の努力目標 〈湧愛五訓〉

- 1、心でとらえ、心で接しよう。
- 1、身体は寝たきりでも、精神まで寝たきりにさせてはいけない。
- 1、よりよい処遇は、職員の和とチームワークから生まれる。
- 1、慣習にとらわれることなく、ミーティングを十分に常にアイデアを。
- 1、いいしゃべりより、手心を加えよ、結果がものをいう。

職員の取り組む姿勢

- ・ 処遇面においては、ピラミッド型のたての線より、横の繋がりを重視し職種ごとの職務分掌を明確にし過ぎぬよう、常に相互の関わりを深くし、全職員協力し合って取り組むよう努める。
- ・ 新入職員が安心して勤務出来るようなフォローアップ体制を確立する為、

指導者が研修を受け質の高い技術や心構えを伝え処遇向上に努める。

令和5年度施設事業における実践目標

1、全体の取り組み

- ・ 集団処遇に落ち入らぬよう利用者一人一人の生活支援へ生活の再建にむけた個別ケアの推進を行う。
- ・ 自由に安心できる物に囲まれ、個性が尊重された生活ができるようベッド周りの環境作りの支援を行う。
- ・ 離床時間の大半を過ごす場の共同生活室は、利用者がゆったりと安心して過ごせるよう環境づくりを行う。又個別のくつろぎコーナーとして廊下等の利用も工夫する。
- ・ 面会にいらした家族が利用者と穏やかな善き時間を過ごして頂けるよう安全に面会して頂くコーナー作りを行う。又雰囲気作りのため職員の丁寧な明るい挨拶、情報交換等に配慮することを忘れない。
(コロナウイルス等感染対策に応じて)
- ・ 現環境下で入居者、利用者、御家族に喜んでいただける最大限のサービスが提供できるよう努力する。

2、湧愛園の取り組み

- (1) 食事は個人の嗜好に応じた複数献立、一人一人へ声掛けし適量・適温配膳を行う。併せて自立した食事が可能となるよう飲食時の適切な姿勢介助・環境づくり(椅子・テーブルなど)、自助具の選定、及び献立の説明等言葉掛けにも配慮を行う。
- (2) 排泄介助は、これまで同様、自立援助と随時交換を継続する。入居者・利用者の尊厳、羞恥心に配慮し排泄介助を行う。また、排泄のサインを見逃さず、訴えや行動から必要な介助を行う。身体機能に応じ、トイレ、ポータブルトイレ、尿瓶等を使用し個々に適した対応を行う。オムツの着用は最終手段とし、仮にオムツを着用していても訴えに耳を傾けポータブルトイレ等の介助を行う。便秘予防の取り組みとして運動や食品の選定など下剤に頼る前に努力する。排泄の臭気に配慮し排泄物、汚物は速やかに処理し快適に過ごして頂くように心がける。
- (3) 入浴は身体の清潔だけでなく心身のリフレッシュとなり、健全な生活に置いて欠かせない日常行為の一つ、これまで同様マンツーマン対応を継続し、入浴方法や好みの湯加減の確認など満足度の高い入浴介助を行う。入居・利用者に好評な季節風呂・入浴剤の使用など楽しみのある入浴を計画し提供する。体調不良時は別日対応などを継続する。心身の状態に応じ、手浴・足浴、部分洗浄・全身清拭などを行い皮膚疾患予防等その持つ効用を十分に生かし対応する。

- (4) ベッドに寝ている際の安楽な姿勢、褥瘡予防の為の除圧を念頭に置き適切な臥位姿勢を支援する。また、椅子や車いすの座面の高さ、肘掛の高さ等を調整し必要に応じて座布団を検討する他、骨盤周辺を支持して良肢位を保つように工夫し、こまめな座り直しを行い快適な離床を支援する。
- (5) 感染予防対策を行い各種感染症の初期予防に努め、入居者の罹患防止の為、近隣の罹患状況等を把握し迅速に対応する。
- (6) 火災・地震・風水害等の非常災害時には入居者・利用者の自力避難が困難なため非常災害対策計画を作成し、近年起きている大規模な自然災害が、尊い命をお預かりする自施設で起こる場合を想定し、実情を鑑みながら計画の見直しを行い、安全が確保でき、実効性のある災害計画を整備する。また、各施設は元より、法人として一体となる協力体制をとり、出来る限り万全を期すると共に、随時見直しを行う。
- (7) 防犯の観点から、施設内に不審者が侵入した際の対処法を研修し、定期的に訓練する事で職員間の連携、通報手順、刺股の使用方法を習得し防犯意識を高め、利用者の安全な暮らしを支える。
- (8) 住み慣れた地域住民との繋がりから得る安心感と、入所者・利用者の「地域との共存」を目指し施設行事の達成感を共にする。
施設行事の住民参加呼びかけや地域行事への参加により、住み慣れた地域住民との交流の機会を持って頂くと共に、職員は地域との連携を意識し活動する
- (9) 上記課題に取り組むために年間研修計画を策定し、職場内研修実施・職場外研修に参加する。又自己研鑽に努める。
- (10) 運営の透明性の確保
情報開示への対応、苦情処理体制と第三者委員会の活動強化、ケアプランに対する説明と同意、モニタリング体制の整備、家族会、ボランティア等を交えた地域連携の強化等、地域に向けた情報の発信と開示を推進する。
- (11) ショートステイのサービス充実
高齢者が住み慣れた自宅で家族と共に少しでも長く生活が継続出来るよう、地域社会の在宅サービスの一つとして利用者・家族に満足していただけるサービスを提供する。
自宅での生活とショートステイ利用中のサービスが連動するように、包括地域支援センター・居宅介護支援事業所の介護支援専門員との連携をとり、事前訪問による調査・家族との連絡を密に信頼関係を築く。又短期入居生活介護計画・介護予防短期入所生活介護計画の充実に取り組み、慣れない環境でも安心して生活できるよう丁寧な支援を提供する。

〈各委員会〉

各委員は、業務に平等な発言権も持ち、主体的・能動的に企画・立案し、創意工夫のもと目標達成に努力する。

- ・食事プロジェクト
- ・排泄プロジェクト
- ・入浴プロジェクト
- ・行事プロジェクト
- ・事故防止検討委員会
- ・感染予防対策委員会
- ・身体拘束廃止委員会

- ◎ 〈湧愛園〉の職員であることを誇りに思える職場であるために、プロとしてのこだわりを持ち続ける。
- ◎ 常に心のこもった丁寧な対応を心がける。